

Early music
Baroque

古楽への誘い

“新しき古楽”の開拓者＝ロンドー、
バロック初期から大バッハに至る道程を紐解く。

A
AOYAMA
MUSIC FOUNDATION
FOTO: SHIGEKI

ジャン・ロンドー チェンバロ・リサイタル ～バッハへの道～

Sapporo Concert Hall ©Hiroharu Takeda

聴くものを
引きつけて止まない

2021年

12月11日(土)

15:00開演(14:15開場)

青山音楽記念館 バロックザール

Jean Rondeau Harpsichord Recital

※新型コロナウイルス
感染予防対策にご協力ください。

バロックザールのWEBサイトを
ご確認ください。

- 本公演は定員の50%に達した時点で販売を停止し、政府方針を参考に当財団で追加販売の可否を決定する予定です。
- 平熱よりも高い発熱や感染が疑われる体調不良により当日のご来場をお控え頂く場合は、後日払い戻しを行います。
- 館内では常時マスクの着用をお願いします。
- 今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、やむを得ず公演を中止する場合がございます。

入場料
一般4,000円/学生1,500円
(全指定席・税込) ※学生席には席数の制限があります。

チケットの発売は、10月頃を
予定しています。最新情報は
WEBサイトでご確認ください。
<https://barocksaal.com/>



バロックザール・オンラインチケットと窓口にて販売
オンライン購入には会員登録が必要です。
お支払いはクレジットカード決済、コンビニ支払い、
ホール窓口支払いをお選びいただけます。セブンイレブンで
チケットをお受け取りいただけます(手数料無料)。

お問い合わせ
青山音楽記念館 バロックザール
Tel. 075-393-0011
受付=9:30～18:00(月・火/休館)
《夏期休館: 8/12(木)～18(水)》

主催
公益財団法人青山音楽財団

※やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。
※未観覧の見えご入場はご遠慮ください。
※一度のお申込みにつき購入いただけるチケット枚数は4枚までと
させていただきます。
※お買い求めいただいたチケットのキャンセル・変更等は
いたしかねます。予めご了承ください。
※会場での録音・録画・写真撮影は固くお断りします。

ジャン・ロンドー チェンバロ・リサイタル

～バッハへの道～

ジャン・ロンドー、京都初登場。300年の時空を超えて紡がれる「バッハへの道」。

“新しき古楽”の開拓者＝ロンドー、京都で初となる本公演のタイトルは「バッハへの道」。

中世の後、ルネサンス(文芸復興)の中心はイタリアであり、様々な事情を汲んでイタリアはバロック興隆の一大中心地でした。有名なヴィヴァルディの他、数々の大家を輩出しましたが、初期バロックの最も重要な作曲家とされているのは、ジローラモ・フレスコバルディで、バロック・ソナタとパルティータの原型となる形式を發展させました。同時代のドイツ出身のヨハン・ヤーコプ・フロベルガーはローマに赴いてフレスコバルディに師事するなどし、バロック組曲における舞曲の配列を確立、またフランドル楽派と称されたオランダのヤン・ピーテルスゾーン・スウェーリンクは、イタリア留学でヴェネツィア楽派の作曲手法を体得し変奏曲の發展に寄与します。大バッハの音楽に「イタリアが汎山詰まっている」のは、彼ら先人たちの偉業を継ぎ、更に發展させて花開かせている^{ゆえ}です。

また、大バッハよりも24年早く生まれ、ドイツ中部で活躍したオルガン奏者で作曲家のゲオルク・ベームは、鍵盤作品や教会音楽の創作を通じ、大バッハに多くの影響を与えました。

17世紀から18世紀初頭にかけて創作された珠玉の名作に身を委ねつつ、300年前の聴衆に思いを馳せる一必聴プログラムです。

Program ※本公演には休憩がございません。予めご了承ください。

(公演時間/約80分)

《バッハへの道》

G.フレスコバルディ:トッカータ 第4番 二短調

Girolamo Frescobaldi (1583-1643) Toccata No.4 in D minor
(The first book of Toccatas, Partitas etc. 1637)

〈スウェーリンク没後400年記念〉

J.P.スウェーリンク:半音階的ファンタジア 二短調

Jan Pieterzoon Sweelinck (1562-1621) Chromatic Fantasia in D minor

J.J.フロベルガー:トッカータII 二短調、トッカータVI 二短調

Johann Jakob Froberger (1616-1667) Toccata II in D minor,
Toccata VI in G minor (Da sonarsi alla Levatione)

G.ベーム:プレリュード、フーガと後奏曲

Georg Böhm (1661-1733) Prelude, Fugue and Postlude in G minor

J.S.バッハ:トッカータ ホ短調 BWV914

Johann Sebastian Bach (1685-1750) Toccata in E minor, BWV 914

ファンタジア イ短調 BWV922

Fantasia in A minor, BWV 922

プレリュードとフーガ イ短調 BWV894

Prelude and Fugue in A minor, BWV 894

トッカータ 二短調 BWV913

Toccata in D minor, BWV 913

半音階的ファンタジアとフーガ 二短調 BWV903

Chromatic Fantasia and Fugue in D minor, BWV 903

使用楽器:ミトケモデル/ヤンカスベーク(Jan Kalnsbek) 2000年製作
*オランダのチェンバロ製作者



©Shura Rusanova

ジャン・ロンドー (チェンバロ) JEAN RONDEAU, Harpsichord

B.ヴェルレのもとで10年以上にわたってチェンバロを学び、その後、通奏低音、オルガン、ピアノ、ジャズと即興演奏、作曲、指揮の研鑽を積んだ。さらに、パリ国立高等音楽院でB.ランヌとケネス・ワイズに師事して優等で卒業し、ロンドンのギルドホール音楽演劇学校で、チェンバロと通奏低音の優秀賞を受賞した。ソルボンヌ(パリ大学)では音楽学の学位を取得している。2012年、弱冠21歳という若さでブルージュ国際古楽コンクール・チェンバロ部門優勝。2013年RFP(ラジオ・フランコフォン・パブリック)新人賞、2015年には、ヴィクトワール・ドゥ・ラム・ジーク・クラシック ソロ楽器部門賞を受賞。エラート・レーベルの専属アーティストとして、2015年にバッハのチェンバロ独奏曲集《Imagine》でメジャーデビュー。これまでにラモーとロワイエの作品集《Vertigo》、《王家〜ディナステイ》、《スカルラッティ・ソナタ集》など6枚のCDをリリース。5枚目となる『リケード』では、リュート奏者、トマス・ダンフォードも参加。昨年春、フランス国内でCDの月間販売第2位。バロック・カルテット「ネバーマインド」で頻繁に演奏するほか、チェンバロ奏者としての活動とは別に、ジャズ指向の自作曲をピアノで表現する場として、アンサンブル「Note Forget」を結成。バロック、クラシック、ジャズへの情熱と好奇心にあふれたロンドーは、哲学、心理学、教授法の要素を少しずつ織り交ぜ、多様な文化や芸術形態、専門分野の間にある音楽的な関係性を常に追求している。2016年クリスティアン・シュヴォーホー監督によるドイツの画家パウラ・モデーラーズーネン＝ベッカーの伝記的映画『パウラ』の音楽を作曲。



Barocksaal

バロックザール

青山音楽記念館

お問い合わせ: tel. 075-393-0011 9:30-18:00 月・火・休館
〒615-8282 京都府西京区松尾大町9-1 <https://barocksaal.com/>



私たちは、音楽活動の普及と
発展のための支援事業と
音楽ホールの運営を行っています。

公益財団法人青山音楽財団

- 主催公演事業 ●新人助成公演事業 ●助成公演事業
 - 青山音楽賞(新人賞・青山賞・バロックザール賞)
 - 育成支援事業[学校等支援事業・奨学金事業] ●青山音楽記念館バロックザール 運営
- www.aoyama-music-foundation.or.jp

30TH
ANNIVERSARY

2020年 青山音楽財団は
設立30周年を迎えました。